

広報長浜まちなか

〒526-0037
長浜市高田町12-34
長浜まちづくりセンター内
(さざなみタウン)
TEL・FAX 64-2753



どうする？ 空き家

空き家活用セミナーを開催を通じて

「ここはもともと新聞屋さんの倉庫でした。びっしりと物があったのを、仲間と片付けていったんです」と、大宮町で居酒屋「ぺんぎん食堂」を営む塙秀雄さんが説明します。路地を入ったところにある隠れ家のようなお店。カウンターをメインにしたすっきりした店舗の様子からは、改修前の状態をなかなか想像できません。

今年3月に当連合会では「空き家活用セミナー」と題したイベントを開催しました。参加したのは、空き家の所有者や自治会長、空き家の利活用に興味がある人など。

イベントでは実際にまちなかの空き家を活用した事例を現地で知ってもらおうと、冒頭のぺんぎん食堂をはじめ、和菓子店や古書店、コミュニティスペースなど6軒を巡り、活用者から直接話を聞かせていただきました。

長浜市には約3000軒の空き家があるとされ、市全体の課題となっています。放置された空き家は倒壊の危険性や犯罪の温床などの心配が生まれるとともに、一帯の景観を損ねてしまいます。

まちなかの場合、歴史を重ねた町家や商家があり、情緒ある景観を作り出しています。まちなかの風景は、先人が創り出してきた大切な遺産でもあります。だからこそ取り壊すのはしのびないという物件もあります。こうしたケースを含め、所有する物件が空き家になった場合に、「こんな活用の仕方がある」ことを知ってもらおうとの取り組みでした。

活用法の一つとして紹介したのが、市の「空き家バンク」への登録。空き家を売りたい（貸したい）人と活用したい人をつなぐ取り組みで、市移住定住促進協議会がサポートしています。

今回のセミナーで詳細を知り、所有物件を同バンクへ登録した所有者も。また空き家への関心の高さを感じる一面もありました。



ぺんぎん食堂の塙さん（右）から話を聞く参加者



まちなかの空き家活用事例を見て回った

「多肉植物を販売する店舗スペースを探しているんです」「故郷の長浜にUターンして出産をサポートする場を作れたら」といった声があり、空き家への関心の高さを感じました。

今年度、当連合会では同様のセミナーや、一部地域をモデルにした空き家調査などに取り組んでいきます。また、放置空き家に悩む自治会や、所有者や活用希望者の相談などにも対応し、関係機関へつなぐサポートも行ないます。お気軽にお声かけください。

今年度はこんなことに取り組みます。



つながりをより強めて

長浜まちなか地域づくり連合会 会長 辻正明

第1から第9までの連合自治会と、長浜地区地域づくり連合会が統合し、「長浜まちなか地域づくり連合会」が新生しました。今こそ住民同士さらなる結束を高め、誰もが「ここに暮らして良かった」と思えるまちをめざして共に取り組みましょう。

まちなかフェスタ 今年は10月29日開催

まちなかに暮らす人、そしてまちなかを訪れる人、まちなかに関わるすべての人の交流イベント「長浜まちなかフェスタ」を今秋開催します。

つながり、創造、飛躍が生まれる多彩なプログラムを予定しています。お楽しみに！

【主な会場】さざなみタウン

【主催】同実行委員会・長浜まちづくりセンター・当連合会

防災防犯部会

- 1 防災活動の推進
 - ・避難所設営・運営訓練…自治会の役員などを対象にした避難所設営・運営訓練。長浜北小学校で今秋予定
 - ・防災・防犯フェアの開催…まちなかフェスタの一環として実施。パトカーや白バイ体験試乗・消火器体験・煙体験など
- 2 防犯活動の推進…スクールガードの推進等

文化スポーツ交流部会

- 1 スポーツ・レクリエーション事業
 - ・モルックのご紹介（6月終了）
 - ・グランドゴルフ大会（6月終了）
 - ・フラッグフットボール大会 9/23（土）西中体育館
 - ・まちなか・大カルム大会 11/19（日）
- 2 文化交流事業
 - ・米川・かわまちづくり事業（4面にて紹介）
 - ・長浜まちなか手帖第4巻の発行
- 3 まちなかフェスタへの事業参画
 - ・体力測定やレクリエーションゲームなど

福祉健康部会

- 1 スマートウェルネスシティづくり
 - ・健康づくり講演会。長浜まちづくりセンターで予定
- 2 子どもへの支援活動
 - ・子どもふれ合い交流広場（長浜まちなか・子ども食堂）
 - 長浜まちづくりセンターとの共催で年間10回程度開催予定
 - ・自治会・長浜地区社会福祉協議会等と連携し開催
- 3 高齢者への支援活動
 - ・高齢者サロンの設置促進及びサロンへの支援
 - ・地域・世代（三世代）交流事業…魚つかみ大会（八幡宮境内八幡川）8/16
 - ・高齢者の居場所づくりの促進
 - ・話咲隊（はなさかたい）の活動・研修会への支援、交流会の開催

快適環境部会

- 1 空き家活用セミナー開催
- 2 花いっぱい運動の推進
 - ・長浜駅前 5月（終了）・11/25（土）
 - ・ミニプランター（まちなか各所）の設置促進
- 3 廃食油のリサイクル活動の促進
 - ※ながはま文化福祉プラザの北玄関横に回収ボックスを設置

今年度も県や市と連携し取り組んでいきます。主な行事を紹介します。今年度は夏原グランドの助成を受けています。日程はすべて予定です。参加募集を行う場合は、事前に告知します。

①米川への関心を高めよう

- ・ 景観現地調査（6月）
- ・ 親水空間を考える講演&ワークショップ 10/7(土)
- ・ イルミネーション設置
12/1(金)～R6.1/31(水)・12/24(日)

②米川を美しく、再生しよう

- ・ バーブエ実験(堆積土砂、漂流ごみ、魚棲息影響調査)



③ 川的环境や生き物をもっと知ろう

- ・ 水生生物等観察会…長小・北小児童&住民
7/15(土)／園児&保護者&住民 7/22(土)
- ・ 川中撮影会

④川で遊び、学ぼう

- ・ 米川・川っこイベント 8/6(日)
- ・ 川を耕す(川歩き&川掃除、川遊び&水生生物観察
&科学実験)
- ・ 米川一斉イベント(川歩き、清掃) 秋ごろ

⑤かわとまちを結ぶまちづくり

- ・ 滋賀県立大学FWの受け入れ、住民交流など
4月～7月にかけて、6回開催
- ・ 地域づくりインターンシップ
大学生によるまちなかの魅力の再発見とSNSによる
情報発信活動
- ・ 米川ネットワークづくり 治水・利活用を考える官
民連携の場づくり

お邪魔します！ 自治会さん vol.5

殿町（とのまち 世帯数269）

かつては長浜城の一部で、江戸期は年貢地として田畑が広がっていた一帯が、現在の殿町に当たります。明治以降は、製糸工場や県の繭検定所、合板所などが立地。昭和40年代初期に自治会発足、さらに「殿町ニュータウン」と名付けられた新興住宅地ができ発展していきました。

今年度の自治会長渡邊嘉久さんは「生家は南日吉やっ たんです。親父が殿町に家を建てて、両親の高齢化に ともない一緒に住むことになりました」と話します。 仏壇の塗師職人の父親のである跡を継ぎ、現在工房は 中日吉に構えています。

渡邊さんの町内のお気に入り、東西に流れる大三 六堀川の四季。初夏はホタルの穴場スポットで、毎年 シーズンになると発生状況をSNSで紹介しているほど。

「これまでの観察から考察すると、毎年5月10日前後 に飛び交い始めているんですよ」

自治会内に神社やお寺はありませんが、殿町公園の 前にはお地蔵さんが祀られています。大きな行事のな いなかで、地蔵盆は続けてきたそう。それもコロナで 数年中断、今年はどうするかと思案中なのだとか。殿



初夏はホタル舞う大三六堀川

町公園も、自治会のシンボルともいえる存在で、立派 なクスノキが並んで立っています。

渡邊さんと一緒に歩くと、空き家が点々としている のがわかります。ニュータウン造成当時に入町してきた若い夫婦が高齢になり、一方でその子どもたちは生家を離れてしまっていることが多く、老年人口（65歳以上の割合）は38%に。結果空き家も徐々に増加、世代の入れ替わり期を顕著に表している状況です。